

平成30年

第12回12月定例教育委員会議事録

平成30年12月27日

大野城市教育委員会

次 第

1 招集日時

- 招集日 平成 30 年 12 月 27 日
- 開会時間 午後 4 時 00 分
- 閉会時間 午後 4 時 45 分

2 招集の場所 大野城市役所 本館 4 階 委員会室 3

3 会議次第

(1) 議事録署名委員

- 平成 30 年第 11 回議事録の署名委員 高木 和敏 委員
- 今回議事録の署名委員 安部 一枝 委員

(2) 議事 なし

(3) 教育長報告

- ①福岡教育事務所管内市町教育委員会教育長会（12 月）について

(4) 報告

- ①指定管理者の指定について

(5) その他

- ①教育長の業務報告（11 月～12 月分）
- ②教育委員会の主な行事・業務の予定（平成 31 年 1 月分）
- ③12 月定例議会 一般質問の概要について
- ④大野城市学校運営協議会推進大会について

4 出席した委員等 吉富 修（教育長） 角 敬之 安部 一枝 高木 和敏 松本 民仁 梶原 千春

5 欠席した委員 なし

6 出席した職員

教 育 部 長	平田 哲也
教 育 政 策 課 長	橋元 啓樹
教 育 振 興 課 長	森永 希代美
教 育 指 導 室 長	野口 英世
ス ポ ー ツ 課 長	船越 善英
ふるさと文化財課長	石木 秀啓
教育政策課係長	葉山 賀瑞江
教育政策課担当	佐藤 恵士

7 会議の書記 教育政策課教育政策担当 佐藤 恵士

午後 4 時00分 開会

○吉富教育長

ただいまより平成30年12月定例教育委員会を開会いたします。

[会議録承認]

○吉富教育長

議事録の承認に入ります。前回の11月定例会につきましては、高木委員さんに署名をお願いいたします。

○高木委員

はい。

○吉富教育長

お願いいたします。

今回の議事録の署名につきましては、安部委員さんに、次回の委員会においてご署名をお願いいたします。

○安部委員

はい、承知しました。

[議 事]

○吉富教育長

それでは早速ながら議事に入らせていただきます。

お示しておりますとおり、議事に、今月は議案として提出されているものはありません。

議事を終わります。

〔教育長報告〕

○吉富教育長

4番の、教育長報告に移らせていただきます。

福岡教育事務所管内市町教育委員会教育長会（12月）について報告をさせていただきます。別資料になっています。

まず第1番目にご報告しなければなりませんのは、本年度大野城市が、当番地区として進めました教科書の採択についてのことでございます。早速、小学校、中学校についての採択業務が次年度始まりますので、その準備に取りかかるものでございます。

資料1のところにあります、来年度は、次の採択事務局は筑紫野市になりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1ページ、2ページにつきましては、特段の説明を加えません。

資料Bについても特段の説明は加えません。

6ページを御覧ください。

6ページにつきまして、中ほどに小学校の採択を予定している教科等が書いてありますが、ここでは新たに教科右側の図画工作から始まっているところの下に外国語が入ります。これが新しいところでございます。それから中学校につきましては、右側教科の並びの欄の外国語というところが新しく加わっています。

それから、これは、協議会のところの5番目の項目に掲げてあります、平成31年度福岡教育事務所管内教科用図書調査研究協議会委員の教育委員よりの選出について、事務局のほうからご提言申し上げますので、後ほどに譲りたいと思います。

次に進ませていただきます。

13ページ、資料4となっております。平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について御覧ください。

14ページ、15ページのところを御覧ください。

ご存じのように、この悉皆調査は、小学校の5年生全員、中学校の2年生全員を対象とする悉皆調査でございます。調査項目は8種目、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20メートルシャトルラン（中学校は持久走との選択可）、それから50メートル走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ（中学校はハンドボール投げと選択可）となっているこの8種目でございます。

これは例年この8種目で行われているところでございますが、その15ページ、右横

のページを御覧ください。

福岡県は、学力・学習状況調査結果とともに、体力の向上も一生懸命進めてきたところですが、15ページの一番下、本県の状況として三つの丸が書いてあります。小学校男女及び中学校男女全ての県平均が調査開始以降最高値となったということでございます。結果が出ているということでございます。特に、その中でも小学校男子の県平均値は4年連続、中学校男子は3年連続、全国平均値を上回っています。三つ目、小学校女子、中学校女子の県平均値は2年連続全国平均値を上回ったと、特に女子の伸びが高いことをこのデータは示しているということでございます。

このまま、各学校1校1種目運動ということで一生懸命に取り組んでいくことでますます功を奏していくと思っております。

以上で報告を終わります。ご確認がございましたらどうぞお願いいたします。

どうぞお願いします。

○角委員

これほど県が伸びている原因をどういうふうに分析してあるのでしょうか。

○吉富教育長

まず、一つ一つの種目を実施する前に、十分に慣れさせておいたということです。実際にまるっきり初めてその調査項目をさせるんじゃないで、事前に少し念入りにこんな動きをするんですよと習熟させておくことが一つ、それから、得点が上がりやすい種目を選んでくださいということが一つあります。

どうぞ。

○野口教育指導室長

失礼します。県でこの取り組みで数値が高まっている要因のもう一つに、測定方法の周知があります。体力テストでの正しい測定の仕方ということで、県のほうから私たち大野城市へ事前に資料が配付をされています。その中で、先生方に正しい測定の仕方を共通理解していただき、そして子どもたちにも目標を持たせて、すぐにテストするのではなく、その目標に向かって練習に取り組み、そして正しい測定の仕方子どもたちの頑張りを評価していく、そういったことが経年で継続されてありましたので、そういったことも要因の一つかと考えられます。

○角委員

そんなものは全国でやってるんじゃないんですか。

○野口教育指導室長

県のほうでは特に体育スポーツ健康課からそういった測定の仕方の資料等を配付しておりますので、協調しての取り組みということもありますし、また、福岡県のタレント発掘事業がアクションでもあっておりますので、この体力テストの結果から、後のオリンピックの選手の候補とかそういったものを見つけるといったことで、結構保護者の方も今、意識が高まっているような状況であります。

○吉富教育長

特に目覚ましく上がってきたのは、実施方法等について習熟するため、現場でしっかりと事前に説明して、悉皆調査やけん適当にやるときなさいというのではなく、今、野口室長も説明したように、教員自身が目的とか方法などを習熟して、丹念にし始めたということ。それから、福岡県全体的として、タレント発掘事業の取り組みなどが全体として非常に総合的に結びついてきたところがあるんじゃないかならうかと思っています。今非常に丁寧にやっているところでございます。

いいでしょうか。

○角委員

ということであれば、これだけ見て、福岡県が特別にいいというわけではない感じもあるわけですね。

このグラフだけ見ると全国に比べて伸び率がすごいんだけど、そういうことからすると、必ずしも体力がよその県に比べて非常にすぐれているとは言えないということもありますね。

○吉富教育長

部分もあるかもわかりません。実施方法等の工夫もあります。

○角委員

了解しました。

○吉富教育長

ほかにいいでしょうか。

どうぞ、高木委員。

○高木委員

タレント発掘事業は今でもあっているんですか。継続してあるんですかね。

○吉富教育長

盛んですよ。そして、タレント発掘の初期に比べ、今ごろは活躍をしてくれています。中学校、小学校からタレントとして発掘された人たちは、どちらかというと基本的にマイナー競技に充当していくというのが本当だったんです。そこが充当されてきて、非常にでこぼこがなくなっている。フェンシングも有望な選手が出てきていると聞きますし、功を奏してきたということを知っています。

どうぞ。

○高木委員

大野城から何人か、応募しているというか、小中学生で該当の子どもはいるんですか。

○野口教育指導室長

はい。

○高木委員

何人ぐらい。

○野口教育指導室長

具体的な数字までは覚えておりませんが、大体2桁、十何名とか、中学校でも5、6名はありました。

○高木委員

ありがとうございます。

〔報 告〕

○吉富教育長

それでは、次に進ませていただきます。5番の報告。

指定管理者の指定について、スポーツ課、船越課長お願いいたします。

○船越スポーツ課長

ではこちらの、大野城総合公園、赤坂・旭ヶ丘テニスコート、乙金多目的広場の指定管理についてという資料をお配りしておりますので、こちらについて報告させていただきます。

現在、公益財団法人大野城市体育協会に社会体育施設の指定管理を行っておりますが、指定管理が平成30年度をもって5年間の期間満了となりますことから、平成31年度からの指定管理者の指定について12月議会で議決されましたので、ご報告をいたします。

下の各機関の審議ということで、12月議会までに各機関の審議を経ております。指定管理者サービスチェック、こちらの評価としましてでは、市のスポーツ振興にかかわる施設を踏まえた施設の運営や、体育協会が別途実施する独自事業との相乗効果などのメリットが考えられる、また、現地調査やアンケート調査の結果から満足できる水準にあると判断していただきまして、平成31年度からの次期指定管理者は引き続き非公募により大野城市体育協会を指定することが望ましいと評価をいただいております。また、期間は、現状と同じ5年間で適切との評価結果をいただいております。

このことにより、12月議会にて指定管理者の指定の議決を受けましたので、31年度から35年度までの指定管理者は大野城市体育協会となりましたことを報告いたします。

○吉富教育長

報告でございますので聞きおきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

6番、教育長の業務報告に移らせていただきます。

[その他]

- ①教育長の業務報告（11月～12月分）
- ②教育委員会の主な行事・業務の予定（平成31年1月分）
- ③12月定例議会 一般質問の概要について
- ④大野城市学校運営協議会推進大会について

○吉富教育長

次に行きたいと思います。一応これで終わりですかね。

それでは、予定しておりました内容につきましては終わりましたので、以上をもちまして12月定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後4時45分 閉会